

No.5 別紙

1 活動名 オンラインワークショップ「持続可能な森林とは？」3回シリーズ第1回 参加

2 研修の目的

(1) 本市における課題

本市の森林は、全体面積の8割をも占めている。東山部では、松枯れが起きており、所有者が不明な森林も存在している。水、空気を生み出すもとである「山、森」をどう持続、再生させていくのかは喫緊の課題である。

(2) 研修の必要性 本市耕地林務行政のチェック、松枯れ対策、森林再生行政のチェックのため

(3) 研修項目 研修内容と同じ

3 研修内容

(1) 日時 令和2年8月22日(土) 14時半～17時半

(2) 会場 オンライン(ZOOM)

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

ア 趣旨説明“脱炭素まちづくりと持続可能な森林” 自然エネルギー信州ネット

イ レクチャー 自立可能な森林とは？

講師 池田憲昭氏(ドイツ在住 Arch Joint Vision社 代表)

ウ グループディスカッションと質疑応答

(5) 成果・所感等

水害やスギ花粉、病害虫被害など、森林と人類が直面する課題。森林を切り開き、太陽光パネルを敷き並べる、木をすべて切ってしまう皆伐など、山林を大規模に開発する事案が目に見えて増えている。森の中、足元に目をやると、黒くふかふかの「土」「土壌」の存在に気づく。この土には、微細な菌が共生し、森林の目に見えない価値を生み出している。多種多様な針葉樹広葉樹混交林の価値を見だし、人と森林の関係を見直し、森林の価値、ありがたさを再認識すれば、自ずと次の行動、指針が明らかになってくる。

災害や気候変動から人と社会を守るグリーンインフラとしての機能と、それを維持、創出すること。森林は、ゼロカーボンへ果たす役割が大きく、森林の持つ保水力が防災につながる。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) セミナー参加費 1000円